

令和7年度

事業計画書



一般財団法人 札幌市スポーツ協会

I 事業方針

第5期指定管理期間の3年目となる令和7年度においては、スポーツ施設の管理運営業務基本方針の重点項目であるスポーツ施設を戦略的に活用した多種目体験事業の新たな事業展開のほか、ジュニアアスリート発掘育成事業における活動拠点を「つどーむ」に移し、スポーツ施設を活用したトップアスリート輩出に向けた取組を強化するとともに、アスリートのセカンドキャリアとしての活動の場の創出にも取り組みます。

また、中期経営計画2027における教室事業のブランド化による営業戦略は、協会の収支改善を図るための根幹となる取組であり、専門的知見や実績を持つ外部コンサルティング企業を活用し、全職員が一丸となり、教室事業のブランディング戦略を確立させ、より効果的な増収策を講じます。

このほか、障がい者スポーツの推進においては、スポーツ参画機会の均等化と共生社会の実現に引き続き取り組むとともに、ウェルネスの推進においては、健康づくりセンターの機能や専門スタッフによる指導とスポーツ施設の戦略的活用を組み合わせることにより、相乗効果を生み出します。

また、世界的な原料価格の上昇による物価・光熱費の高騰もさることながら、人手不足も経営に大きなリスクとなっており、現在取り組んでいる中期経営計画2027を確実に推し進めることにより収支改善を図るとともに、持続可能な経営の安定化に取り組み、当協会の経営理念である「私たちは、笑顔あふれる未来に貢献します」を実現します。

Ⅱ 事業計画

1 地域スポーツ普及振興事業

(1) 教室事業・交流大会

ア スポーツ教室事業（6,300事業 85,000人）

体育・スポーツ施設において、競技団体から推薦された指導員やインストラクター、当協会指導員により、技術の向上や、健康・体力づくりを目的とした、幅広い世代が参加しやすい教室事業を開催する。継続的な運動の機会を提供する一般事業、プール全施設で取り組む自動継続教室のほか、協会独自の取組による高等教育機関・専門機関・地元プロスポーツチームと連携した専門性の高いプログラムの開発や、地域のニーズに応じた短期、少人数制、プライベートレッスンなどの幅広い教室を実施する。

また、札幌市の気候を活かしたウインタースポーツ活性化のための教室（82事業 1,000人）や、スポーツ参画機会の均等化と共生社会の実現に向けて、障がいのある方のスポーツ活動のきっかけづくりを目的とした「チャレンジスイミング」「チャレンジジム」「チャレンジボールゲーム」（20事業 100人）、学校体育施設を利用した教室（4事業 40人）のほか、「あそび」と「障がい者スポーツ」を融合させた「共創型インクルーシブ事業」を試行実施する。

多種目体験事業については、市民が札幌市のスポーツ施設を横断的に利用し、これまで以上に気軽なスポーツ実践の機会が提供できるよう、「DO! スポ KIDS」（10事業 240人）や「DO スポ! シニア健康塾」（1事業 30人）を実施するほか、短期多種目体験事業の新規実施や、継続的なスポーツ活動につなげることを目的とした新規クラスのモデル事業を実施し、札幌市全域のスポーツクラブ事業の創出を目指す。

イ 教室事業のブランド化への取組

スポーツ教室事業においては、外部コンサルティング企業を活用した教室事業のブランド化に取り組み、知名度や認知度を向上することにより、市民により親しまれる教室事業を目指す。

ウ スポーツ大会、スポーツイベント事業（83事業 11,000人）

体育・スポーツ施設において、「スポーツの日」の無料開放等、地域のスポーツ活動の支援となる大会、イベント事業を開催する。

また、参加者の交流と継続意欲を高めることを目的に、スポーツ教室受講者を対象としたハンドボール交流戦の開催、泳力検定会などの複数施設合同の事業（5事業 170人）、ウインターレクリエーション活性化のための大会（7事業 520人）を実施する。

(2) 普及啓発事業

ア ウインタースポーツ塾（2事業 1,760人）

市内在住の小学生を対象に、カーリングやクロスカントリースキーなどの体験会を開催し、幅広くウインタースポーツに親しむきっかけを創出するとともに、ウインタースポーツ人口の裾野拡大、クラブチームや少年団の団員獲得に向けた橋渡し等を行い競技人口の増加を図る。

イ さっぽろっ子スケートチャレンジ検定（1事業 1000人）

ウインタースポーツの普及振興を目的に小・中学生を対象としたスケート検定事業を行う。

ウ 歩くスキー常設コース事業（白旗山 1,600 人、中島公園 11,000 人）

冬季間、歩くスキーの常設コースを白旗山競技場と中島公園に設置・管理するとともに、中島公園でスキー用具の無料貸し出しを行う。

エ ウオーキングステーション事業（14 コース 1,000 人）

管理施設をスタート・ゴール地点とした、国際市民スポーツ連盟（IVV）のイヤーラウンドコースを設置し、ウオーキングの普及を図る。

オ スポーツキャラバン事業（22 件）

（ア）町内会、PTA や企業などが行うスポーツ・健康づくり活動の促進を目的に指導者の派遣（2 件）

（イ）スポーツ用具の貸し出し（20 件）

カ 小学校水泳授業（11 校 5,000 人）

小学校のプール統廃合に伴い水泳指導と合わせた団体利用のプログラムを開発し、各プール施設で小学校水泳授業の受け入れを行う。

（3）地域コミュニティ活性化事業（14 事業 6,600 人）

区役所、商店街組合、町内会などと連携して、地域活性化の活動・イベントに運営参画するとともに、施設近隣の住民を対象としたウォーターセーフティ講習会などの啓発事業を実施する。

（4）障がい者スポーツの普及促進事業

ア 札幌市障がい者スポーツ普及促進協議会への参画

札幌市が平成 29 年度に策定した「札幌市障がい者スポーツ普及促進プログラム」に基づき、様々な取組を進めていくための協議会に委員の就任及び事務局への協力を行う。

イ 冬季障がい者スポーツ指導者養成事業（4 事業 50 人）

障がい者スポーツの中でも特に指導者が不足しているウインタースポーツに関して、養成講習会と指導の場となる体験会を実施する。

（ア）シットスキーサポーター養成講習会及び体験会の実施

（イ）バイスキー指導者養成講習会及び体験会の実施

ウ 冬季パラスポーツ体験イベント事業（1 事業 140 人）

月寒体育館、月寒屋外競技場、どうぎんカーリングスタジアムが施設間合同事業として実施する「雪に氷にふれよう！わくわくウインターフェスタ&冬季パラスポーツ体験」において、冬季パラスポーツへの理解促進とすそ野の拡大を図るため、一般社団法人札幌市パラスポーツ指導者協議会をはじめとする関係団体と連携し、パラアイスホッケーやシットスキー、車いすカーリングなどの体験イベントを実施する。

エ パラスポーツ体験出張事業（4 事業 530 人）

ボッチャをはじめとするパラスポーツや、障がいのある子どもの運動機会を提供する「みんなのあそび場」など、障がい者スポーツ団体や高等教育機関と連携したパラスポーツ体験会を実施する。

2 スポーツ大会・イベントの開催及び誘致等

(1) 札幌市民スポーツ大会の開催

広く市民の間にスポーツの振興・普及・発展を図り、健康の維持増進と文化生活の向上に資することを目的に実施する。

ア 第66回札幌市民スポーツ大会総合開会式

開催日：5月22日（木）19：00

会場：札幌市教育文化会館

イ 市民スポーツ大会開催経費補助事業

各加盟競技団体が主管となって実施する大会に補助金を交付する。

(2) 第48回北海道を歩こう

初夏の北海道を満喫するウォーキングイベント。

開催日：5月18日（日）

会場：真駒内中学校～札幌芸術の森～真駒内カントリークラブ～支笏湖ポロピナイ

種目：33km、10km、6km

参加者数：1,200人

(3) リレーマラソン in 大和ハウスプレミストドーム 2025

1周2kmの大和ハウスプレミストドーム特設コースをチームでたすきをつなぎながら走るリレーマラソン。

開催日：7月19日（土）

会場：大和ハウスプレミストドーム

種目：42.195km リレーマラソン、10km リレーマラソン

参加者数：7,000人

(4) 第50回札幌マラソン

ハーフマラソン及び10kmは日本陸連公認コース。

開催日：10月5日（日）

会場：真駒内セキスイハイムスタジアム

種目：ハーフマラソン、10km、5km、中学生、小学生、ファンペア、車イス

参加者数：13,200人

(5) 第46回札幌国際スキーマラソン大会

クロスカン트리スキーの普及振興目的とした国際連盟「ワールドロペット」に加盟する国内唯一の大会。毎年、海外からも多くの参加がある。

開催日：2月1日（日）

会場：白旗山競技場

種目：スキーマラソン 50km・25km、歩くスキー10km・4km

参加者数：1,100人

(6) スポーツ大会・合宿誘致及びスポーツツーリズムの推進事業

さっぽろグローバルスポーツコミッションの事務局として、ウインタースポーツ、パラスポーツ、アクションスポーツを中心とした競技大会の誘致、開催支援に加え、国や関係団体と協働でスポーツ関連の国際会議等におけるプロモーション、視察対応を行う。

また、シティ PR やスノーリゾートシティ SAPPORO 推進事業などのスポーツツーリズムの推進を支援するため、「ナイトクロカン in 中島公園（歩くスキーコース）」を実施する。

(7) スポーツボランティアの啓発普及事業

スマイルサポーターズの登録管理と小学校スキー学習支援事業やスポーツイベント運営における選手・観客の誘導、通訳などのボランティアの活動機会及び情報の提供を行う。

また、スポーツイベントの活性化を図るため、大学や企業等の地域と連携して、スポーツボランティアを育成して活動を支援する。

(8) スポーツ大会・イベントとの連携・協力事業

ア 北海道マラソン（8月31日（日））

イ チャレンジ！スポーツパーク（12月下旬）

ウ ほっかいどう大運動会 2026（2月中旬）

エ さっぽろスノースポーツパーク（2月中旬）

3 競技力向上・普及促進事業

(1) 加盟競技団体及びスポーツ団体等との連携、支援に関する事業

ア 加盟団体代表者委員会の設置

スポーツの競技力向上普及促進のための総合的施策を行うことを目的とし、加盟競技団体の代表者から成る委員会を設置する。

また、この委員会の委員より当協会の理事候補者及び評議員候補者を選出することとし、継続的な加盟競技団体との連携体制を構築する。

イ 加盟競技団体への支援など

加盟競技団体理事長・事務担当者会議を開催し、各種事務処理の説明や意見交換などを行い、各団体相互の連携と融和を図るとともに、要請に応じて、適時、各種大会運営及び組織体制強化充実等についての支援を行う。

また、加盟競技団体が行う事業に対し、要請に応じて後援・協力を行う。

ウ スポーツ団体との連絡調整

公益財団法人北海道スポーツ協会及び北海道内のスポーツ団体との連携及び融和を図る。

(2) 競技力向上・普及促進事業

加盟競技団体が、選手強化・育成や指導者の資質向上及び各競技の普及促進を図ることを目的に実施する事業経費の一部補助等を行う。

ア 競技力向上指導者講習会

開催日：11月予定

イ 競技力向上事業

(ア) 選手強化育成事業への経費補助

(イ) 指導者育成事業への経費補助

ウ 普及促進事業

(ア) 普及促進講習会及び研修会開催事業への経費補助

(イ) スポーツ教室等開催事業への経費補助

エ 施設見学

開催日：10月予定

(3) さっぽろアスリートサポート事業

札幌のスポーツ活動の充実と発展を促進するため、これに寄与する団体及び個人の活動に対し、市民スポーツ振興事業の実施、スポーツ大会及び強化合宿等の参加、青少年冬季スポーツの活動経費を助成する。

ア 市民スポーツ振興事業

市民が広く継続的にスポーツに親しむことのできる事業を行う非営利団体に対し助成する。

イ スポーツ大会出場及び強化合宿参加補助事業

道外で開催される国際スポーツ大会、全国規模の青少年スポーツ大会及び合宿練習への参加に対し助成する。

ウ 青少年冬季スポーツ振興事業

札幌市スポーツ少年団又は青少年を対象とする冬季スポーツ団体が実施する普及・育成事業を行う団体に対し助成する。

(4) さっぽろジュニアアスリート発掘・育成事業

札幌市より次世代のオリンピック選手及びトップアスリートを輩出することを目的に、ジュニア世代の選手の発掘・育成を行う。活動拠点施設をスポーツ交流施設（つどーむ）に移し、練習機会を優先的に確保し、拠点施設を中心とした広報活動を展開するなど、効果的かつ集中的に事業を実施する。

ア 発掘事業（1事業 600人）

(ア) スポーツ能力測定会

スポーツ施設の利用者や少年団に所属する子どもを対象に、運動に対する適性テスト等を行い、将来有望な子どもたちを見出し、さっぽろジュニアアスリート発掘プロジェクト生を選考する。

(イ) さっぽろジュニアアスリート発掘プロジェクト

スポーツ能力測定会より選出した有望な子どもたちをプロジェクト生として、ジュニア期に必要なトレーニングや座学を実施する。また、育成事業の選手との合同研修会や種目練習会で種目適性を見出し、加盟競技団体や少年団へ引継ぎ、競技力向上に結びつける。

イ 育成事業（5競技 45人）

冬季5種目（スノーボード、スキージャンプ、カーリング、フリースタイル、ノルディックコンバインド）、夏季3種目（陸上、バドミントン、テニス）の競技団体と連携し、長期的な展望に立って、日常的な強化練習や国内・海外合宿などの支援を行い、次世代のオリンピック選手及びトップアスリートの育成を行う。

(5) トップアスリート活用の取組

ウィンタースポーツの拠点施設である月寒体育館、どうぎんカーリングスタジアムに配置したオリンピックの名誉館長に、アイスホッケー教室の指導やDo スポ KIDS 教室の指導、冠大会等を実施する。また、美香保体育館でもオリンピックを招へいし、一般開放における利用者との触れ合いや教室受講生への指導など、施設利用者のすそ野の拡大や競技力向上を図る事業を実施する。

(6) アスリートのセカンドキャリア支援

現役を引退したアスリートを指定管理施設で実施する事業や外部派遣に活用し活躍の場を創出するための登録システムを構築する。

4 スポーツ少年団の普及・育成事業

スポーツ少年団活動を通じて、子どもたちの健全な心身の発育発達に資するために、札幌市スポーツ少年団を設置し、各種事業による普及と組織育成を行う。

(1) 派遣事業

日本スポーツ少年団及び北海道スポーツ少年団が主催する少年大会、リーダースクール並びに全道及び全国種目別交流大会への派遣を行う。

(2) リーダー養成・育成事業

ア 札幌市スポーツ少年団リーダー養成研修会の開催（11月29日（土））

イ 札幌市スポーツ少年団ジュニア・リーダー研修会の開催（10月予定／2泊3日）

ウ 日本スポーツ少年団ジュニア・リーダースクール（道央ブロック）への派遣（1月予定）

エ 日本スポーツ少年団シニア・リーダースクールへの派遣（未定）

オ 第51回日独スポーツ少年団同時交流への派遣（7月30日（水）～8月14日（木）／ドイツ）

(3) 各種目交流大会

軟式野球、サッカー、剣道、ソフトテニス、空手道、ミニバスケットボール、バドミントン、少林寺拳法、冬季スポーツ、綱引、バレーボール競技の交流大会の開催

(4) 指導者育成事業（1事業 50人）

指導者・母集団研修会の開催（2月7日（土））

5 健康・体力づくり推進事業

(1) 健康増進・運動指導事業（健康づくりセンター）

ア 健康増進・健診事業（8事業 5,700人）

中央健康づくりセンター（令和7年5月以降再開予定）において、健康状態の把握に必要な運動負荷心電図検査を含む医学的検査と体力測定及びこれに基づく生活・栄養・運動などの総合指導プログラムを提供する「健康度測定」並びに受診機会の少ない18歳～39歳の女性を対象に骨粗しょう症検査を含む健康診断「女性のフレッシュ健診」を実施する。

また、保健師、管理栄養士、理学療法士による各種相談事業を行う。

イ 運動指導事業（61事業 40,300人）

市民の健康増進と健康づくり活動の実践の場として、運動フロアにて運動機器の利用指導や「エアロビクス」「筋トレ」などの自由参加プログラム、健康度測定受診者などへの個別運動指導を行う。

また、各区保健センター主催の生活習慣病予防教室などの健康づくりに関する事業に運動指導員を派遣し、運動の実践指導を行う。

(2) 健診・指導事業

ア 健診事業（4事業 290人）

中央健康づくりセンターにおいて、各保険者が行う「特定健康診査」のほか、受診希望者に対して「大腸がん検診」及び「緊急肝炎ウィルス検査」を実施する。

また、札幌市在住の50歳～69歳（偶数年）の男性で検査希望者に対して「前立腺がん検診」を実施する。

イ 指導業務（6事業 30人）

特定健康診査の結果により「特定保健指導（積極的支援・動機づけ支援）」の対象となった方

に、生活習慣の改善を目的に保健・栄養・運動指導による支援を行う。

(3) 健康づくり活動の支援事業など（435 事業 8,000 人）※中島体育センターの実施分含む

健康づくりセンターにおいて、市民を対象に健康・体力づくりをはじめ、生活習慣病や膝痛・腰痛の予防などを目的とした教室や健康づくり活動に対する動機づけとなる講習などを行う。

また、地域団体等が実施する健康づくりに関する講座へ健康運動指導士、理学療法士などを派遣し、実技指導や講話などを実施する。その他、健康度測定や女性のフレッシュ健診受診者対象のオプション検査等の実施や医師・管理栄養士・運動指導士等による健康講座を開催する。

(4) 健康づくり・スポーツ施設との連携事業

ア 各区体育館における健康サポート教室（14 事業 130 人）

健康づくりセンターの機能強化を目的に、体育館を利用する高齢者などをターゲットとして、健康づくりセンターの健康サポート教室（膝痛・腰痛などの運動器疾患や高齢者を対象とした運動教室）を体育館においても実施することで、スポーツ施設の戦略的活用を行い、新たなニーズの掘り起こしと健康度測定受診者の拡大を図る。

(5) ウェルネスの取組を通じた普及啓発事業（1 事業 16 件 40 人）

ア 市民に対する普及啓発の取組

協会 SNS や其他媒体及びスポーツ施設を会場とした健康情報の動画配信を行い、健康づくりイベントを実施する。

イ 企業に対する普及啓発の取組（健康経営サポート事業）（1 事業 16 件 40 人）

企業に向けた健康支援として、企業への営業や医療機関への案内を行い、企業が抱える健康課題に対し、生活習慣病予防等の健康セミナーや運動プログラムの提供を行う。

6 施設の管理運営事業

(1) 札幌市体育施設の指定管理

総括管理運營業務、施設・設備等の維持管理に関する業務、施設の利用に関する業務、管理運營業務に付随する業務

ア 札幌市体育館グループ（13 施設）

北ガスアリーナ札幌 46、中島体育センター、北区体育館、東区体育館、白石区体育館、厚別区体育館、豊平区体育館、清田区体育館・温水プール※¹、白旗山競技場、南区体育館、西区体育館・温水プール※²、宮の沢屋内競技場、手稲区体育館

※1 札幌市による床改修工事のため、競技室・体育室・第2体育室を令和7年10月1日から令和7年11月30日まで休止予定

※2 札幌市による床改修工事のため、競技室・体育室を令和7年8月1日から令和7年9月30日まで休止予定

イ 札幌市温水プールグループ（6 施設）

東温水プール、白石温水プール、厚別温水プール、豊平公園温水プール、平岸プール、手稲曙温水プール

ウ 札幌市美香保体育館（1 施設）

エ 札幌市スケート施設グループ（4 施設）

月寒体育館、月寒屋外競技場、どうぎんカーリングスタジアム、星置スケート場

オ 札幌市屋外競技場施設グループ（４施設）

円山総合運動場、麻生球場※¹、厚別公園競技場※²、平岸庭球場

※¹ 札幌市によるスタンド保全、グラウンド改修工事のため、令和６年 10 月中旬から令和 7 年 11 月末まで休場予定

※² 札幌市による改修工事のため、令和 6 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで休館予定
令和 7 年度は補助競技場のみ再開予定

カ 札幌市スポーツ交流施設（１施設）

(2) 札幌市健康づくりセンターの指定管理

総括管理運営業務、施設・設備等の維持管理に関する業務、健康増進事業等の業務、施設の利用に関する業務、管理運営業務に付随する業務

中央健康づくりセンター※¹、東健康づくりセンター、西健康づくりセンター※²（３施設）

※¹ 札幌市による保全改修工事のため、令和 5 年 10 月～令和 7 年 4 月末頃まで休館予定。中央健康づくりセンターにて行う健診事業は西健康づくりセンターへ一時機能移転。

※² 札幌市による保全改修工事のため、令和 7 年 9 月下旬から令和 8 年 9 月末頃まで休館予定。

(3) 学校施設の開放事業

札幌市内の学校施設を開放し、市民のスポーツ・文化活動を支援する。

ア センター管理校

体育館開放（171 校）、グラウンド開放（24 校）、格技室開放（18 校）、文化活動練習会場学校開放（16 校）

イ 自主管理校

体育館開放（107 校）、グラウンド開放（１校）、テニス開放（１校）

ウ プール開放（179 校）

7 情報提供及び調査研究

(1) 加盟競技団体情報の収集・提供

加盟競技団体の活動などに関する情報を収集・提供する。

(2) イベント・教室などの募集情報の提供

各種媒体の活用により、健康・スポーツに関する情報を積極的に発信し、施設の利用を促進する。また、広く速やかに情報を届けるために協会公式 LINE や Instagram 等の SNS による情報配信を行う。

(3) 協会ホームページにおける情報の提供

管理施設及び競技団体の情報を集約した情報の発信を行うとともに、年齢や障がいの有無などに関わらず、誰にとっても分かりやすく利用しやすいホームページの実現を目指し、ウェブアクセシビリティとユニバーサルデザインの向上を図る。

(4) 医科学的な調査研究及び分析並びに成果・情報の提供

健康づくりセンターにおいて、生活習慣病予防、介護予防事業など健康づくり関連事業の科学的効果に関する調査研究を行う。

(5) お客様満足度の調査並びに情報の提供

お客様へのアンケートにより施設利用の満足度等を調査する。また、意見、要望等を把握・分析するとともに、お客様への情報提供を行うことで各施設の課題の解決を図る。

8 社会貢献事業等

(1) スポーツ経営人材の育成及び活用

ア 事業連携包括協力協定の締結

北翔大学との間で、学生が札幌マラソンなどの運営に携わる事業連携包括協力協定を継続し、スポーツイベントの活性化や企画運営者の育成を図る。

イ スポーツ施設運営管理者の育成

公益財団法人日本スポーツ施設協会との共催により、公認スポーツ施設運営士養成講習会を開催し、施設運営管理者を育成する。

ウ インターンシップなどの推進

インターンシップや職場体験学習を積極的に受け入れ、スポーツ施設の運営を通じた学生の職業観の醸成と社会人として自主的に考え行動できる人材の育成を支援する。

(2) スポーツを通じた社会貢献事業

ア プロスポーツへの貢献事業

北海道を拠点として活動する北海道日本ハムファイターズ、北海道コンサドーレ札幌、エスパル苫小牧北海道、レバンガ北海道、北海道イェロースターズ、アルテミス北海道の活動を支援するとともに、協働イベントの開催を通じて地域スポーツの振興と市民との触れ合いの場の創出を図る。

イ 地域への安全なスポーツ環境の提供

さっぽろ救急サポーターとして、各施設に応急手当のできる職員を配置し、事故発生時に迅速に対応できる体制を整え、救命率の向上に寄与する。また、地域住民を対象とした水泳安全講習会や水上安全講習会などを開催し、地域の安全・安心なスポーツ活動の実施に協力する。

ウ 役員就任など

競技団体等が主催する健康・スポーツ事業への役員就任や後援などを行い、スポーツの普及振興と健康づくり活動を支援する。

(3) 地域貢献事業

ア 地域の環境保全及び防犯活動

地域の関係団体と連携した河川敷清掃、植栽などの環境美化活動の実施など、環境保全活動を積極的に行う。

また、札幌市の地域安全サポーターズとして、こども 110 番の店、防犯パトロール、スクールガードなどの地域の防犯・安全活動を行い、安全・安心で結ばれる優しいまちづくりに協力する。

イ 障がい者就労施設などへの協力

障がい者就労施設（障がい者支援施設、就労継続支援 B 型事業所など）から物品購入、印刷発注などを行い、地域の福祉施策へ積極的に協力する。

ウ 募金活動及び献血への協力

社会貢献や地域支援などを目的とした関係機関との連携支援として、盲導犬育成支援募金に協力する。また、日本赤十字社の「献血サポーター」として登録し、献血へ積極的に参加することを全職員に呼びかけ、医療に必要な血液の安定的な確保に協力する。

エ 地域コミュニティ活性化事業（24 事業 10,175 人）

区役所、商店街組合、町内会などと連携して、地域活性化の活動・イベントに運営参画するとともに、施設近隣の住民を対象とした水上安全無料講習会などの啓発事業を実施する。

加盟競技団体一覧（53団体）	※加盟順
札幌弓道連盟 札幌剣道連盟 一般社団法人札幌地区サッカー協会 札幌柔道連盟 札幌水泳協会 公益財団法人札幌スキー連盟 札幌スケート連盟 札幌ソフトテニス連盟 札幌体操連盟 札幌卓球連盟 一般社団法人札幌ボート協会 北海道ラグビーフットボール協会札幌支部 一般財団法人札幌陸上競技協会 札幌テニス協会 札幌ホッケー連盟 札幌相撲連盟 札幌地区バスケットボール協会 札幌バレーボール協会 札幌地区バドミントン協会 札幌山岳連盟 札幌フェンシング協会 札幌ウエイトリフティング協会 一般社団法人札幌乗馬倶楽部 札幌クレー射撃協会 札幌ソフトボール協会 札幌レスリング協会 札幌軟式野球連盟	札幌アーチェリー協会 札幌銃剣道連盟 札幌ボブスレー・スkeleton連盟 札幌リージュ連盟 札幌ボクシング協会 札幌バイアスロン連盟 一般財団法人札幌アイスホッケー連盟 札幌ハンドボール協会 札幌自転車競技連盟 札幌なぎなた連盟 札幌地区空手道連盟 札幌パワーリフティング協会 一般社団法人札幌セーリング協会 札幌少林寺拳法協会 札幌ボウリング協会 札幌綱引連盟 一般社団法人札幌カーリング協会 札幌グラウンド・ゴルフ協会 札幌ミニバレー協会 札幌地区パークゴルフ協会連合会 札幌地区トライアスロン連合 札幌武術太極拳連盟 札幌ソフトバレーボール連盟 札幌ペタンク協会 札幌バウンドテニス協会 札幌ゲートボール連合